

第 26 回大学改革フォーラム

『学生の自律的学修に向けてのDXの推進』（Webex 開催）

1. テーマ

デジタル技術の進展により教育手法が大きく変わる中、「教育マネジメント指針」に示される学修者本位の教育、単位制度の実質化においては、DXが柱になる事が考えられます。

教育におけるDXの活用としては、「授業面」では、オンデマンド及びオンライン授業の活用、海外を含む他大学との授業連携・単位互換等の実現、デジタル教科書開発、「学生支援面」では、学修管理システムや学修ポートフォリオ等を活用した学修成果分析、「管理運営面」では、学修にかかるデータを活用したIRや事務手続きのオンライン化などが挙げられます。

今回のフォーラムでは、教育DXにおける他大学の先行事例に学び、特に、学生の自律的学修を向上させるための手法としてどう確立し、有効活用できるかについて検討したいと思います。

※基調講演を行う関西大学は、文部科学省「デジタルを活用した大学・教育高度化プラン」①「学修者本位の教育の実現」②「学びの質の向上」に同時採択されています。（①②同時採択は、私立大学では関西大学と金沢工業大学のみ）

2. プログラム

日時：2021年11月17日（水）15：30～17：00（受付開始15：20～）

会場：Webexによるオンライン開催

対象者：本学の全教職員（非常勤講師含む）、西部地区五大学の教職員、学生

時間	項目・内容
15:30～15:35	開会挨拶：学長 G. W. パークレー
15:35～16:15	基調講演 関西大学 関西大学学長補佐/人間健康学部教授 岡田 忠克氏 「関西大学の教育DXの取組について ～次世代社会に適合したスマートキャンパス構想」
16:15～16:55	質疑応答・意見交換 「学生の自律的学修に向けてのDXの推進」 ①関西大学学長補佐/人間健康学部教授 岡田 忠克氏 ②教務部長 渡邊 均 ③情報処理センター所長 史 一華 ファシリテーター：副学長（教育・研究担当）、教育・研究推進機構長 立石 剛
16:55～17:00	閉会挨拶・総括：副学長（教育・研究担当）、教育・研究推進機構長 立石 剛

岡田忠克氏プロフィール

関西大学学長補佐/人間健康学部教授

1970年大阪府生まれ。同志社大学から大阪市立大学大学院を経て、2003年に大阪市立大学より博士（学術）を取得。2001年に流通科学大学サービス産業学部助手に着任し、大阪産業大学経済学部専任講師、助教授を経て、2006年4月関西大学文学部に着任、2010年4月より人間健康学部にも所属変更。専門は社会福祉政策である。2016年10月より学長補佐。担当職務は、教育推進事項であり、地域連携センター長も兼ねている。PlusDX取組1の事業推進者である。